

兵庫県立西宮病院 地域医療連携室便り

はまかせ

2011年5月
第21号

院長就任のご挨拶

病院長 河田 純男

このたび、藤本高義前病院長の後任として4月1日より病院長に就任いたしました。各位におかれましては藤本先生と同様にご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年度は、東日本大震災による被災の甚大さへの驚愕と福島第一原発の事故へのつる不安で開けました。県立西宮病院では、すでに医師3名、看護師2名、薬剤師1名を宮城県石巻市に派遣し、被災地への医療支援に参画しました。さらに、第2次の派遣を行い、第3次の派遣も予定しています。被災地の復旧・復興が速やかになされることを祈念してやみません。

このように騒然たる世相ではありますが、私ども西宮病院の職員は、鋭意、医療人としての本分を十分に発揮するように努めてまいります。南阪神圏の中核病院として、県立西宮病院が県民に安全・安心の医療を提供できるように職員一同で鋭意努力を続けていきたいと念じております。そのために各診療科における診療機能を充実させ、チーム医療を推進し、医療安全に十分に留意して診療を行って参りたいと存じています。

すでに救急医療センターは、県の保健医療計画に基づき阪神地区における重病・重篤な救急患者の受け入れ体制をより充実させるために、4月1日より救命救急センターとして稼働しております。

腎疾患総合医療センターにおきましては、腎移植はもとより、人工透析、血液浄化、組織適合検査等、腎臓内科と泌尿器科の緊密な連携で腎疾患に関する高度専門医療を行ってまいります。さらに周産期医療のより一層の機能強化を図ってまいります。医師不足が著しい周産期医療において、西宮病院は豊富な分娩実績を誇っており、今後もハイリスク妊娠への積極的な対応やNICUの機能充実を行っていきたくと考えています。

また兵庫県指定がん診療連携拠点病院として、西宮病院はがんの専門医療を提供しております。なかでも消化器がんについて外科手術、放射線療法および化学療法を組み合わせた集学的がん治療に力を入れています。近年、外来化学療法室も拡充され、適切な分子標的治療など、より効果的ながん治療を目指しています。また院内では各診療科の専門医が連携して、個々の症例における、より効率的ながん治療を進めるため、カンサーボードが実質的に機能しています。

近年、食生活の欧米化、運動不足など生活習慣の変化により、肥満が増加し、メタボリックシン

ドローームおよび糖尿病が増加しています。これらは心筋梗塞や脳梗塞といった動脈硬化性疾患につながるだけではなく、大腸がん、乳がん、前立腺がんなど、先進国型のがんが発症する危険因子になると考えられています。今後、糖尿病に対する総合的な専門医療を整備する必要があると考えています。

県立西宮病院がここに述べました機能をより確かなものにしていくためには、地域医療連携室をおとした病診連携、病病連携が最も重要であります。県立西宮病院におきましても地域医療支援病院として、地域完結型の医療を実現するために日々努力しています。医療の提供体制は地域が単位であるといわれています。地域医療は医療当事者が一つのコンソーシアムをつくってそこで議論しながら行っていくものです。そのためには核となる病院が中心となって地域医療の体制を組み立て、それぞれの得意とするところを伸ばして、地域全体における役割分担とネットワークを地域の病院、診療所が主体的に考えていくことが必要であると思っています。何卒、各位におかれましてはご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

参事就任のご挨拶

参事（医療連携担当）兼手術担当部長 杉野 達也

本年4月から、参事として医療連携を担当することになりました杉野と申します。救命救急を専門としておりますので、日常臨床ではこのたび救急医療センターから発展・改称した救命救急センターで救急診療に携わっております。また、西宮市医師会では救急災害対策委員会のメンバーとして長年お世話になり、救急医療における地域連携の問題にも関わってまいりました。「地域医療連携」と「救急医療」とは、もともと切り離すことのできない一体のものであり、両者を包括した大きな視野をもって取り組んでいくことが地域の医療システムにとって重要であることはいまでもありません。その意味で、たいへんやりがいのある役割をいただいたと喜んでおります。当院の地域医療連携室は、乾部長と福島課長のリーダーシップのもと、いろいろなテーマに積極的に取り組んでいますので、私もチームの一員として一つずつ勉強しながら、よりよい医療連携の構築を目指してまいります。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

【地域医療連携部地域医療連携課】 —スタッフ紹介—

参事（医療連携担当）兼手術担当部長	杉野 達也
診療部長兼地域医療連携部長	乾 由明
看護部次長兼地域医療連携課長	福島 芳江

（地域医療連携室）

看護師	福田 和美	西山 則子
事務員	本間 澄	小比賀 純 浜田 文恵

(医療相談室)

医療ソーシャルワーカー

道井 典子 畑 裕美

大岩 早織 狩谷 絢子

新任医療ソーシャルワーカーからのご挨拶

4月から医療ソーシャルワーカーとして赴任致しました狩谷絢子です。急性期病院での支援は初めてなので、日々学ぶことが多いですが、患者様に寄り添った支援ができるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



医師の紹介 一赴任医師からのご挨拶一

循環器科 間木野 泰祥

平成23年4月に循環器科に赴任いたしました。循環器疾患の中でも特に狭心症や急性心筋梗塞といった虚血性心疾患や閉塞性動脈硬化症といった末梢動脈疾患の診断治療を中心に行っております。胸痛や呼吸不全、心電図異常等の循環器救急疾患には随時対応させていただいております。また、血圧管理、心不全治療に関してもいつでもお気軽にご連絡ください。

お知らせ

造影CT検査を施行する際に、腎機能(クレアチニン)のチェックやビグアナイド系糖尿病薬の服用の有無のチェックが事前に必要となります。地域の先生方から当院へ造影CTのご紹介を頂く場合、説明書や問診票、承認書等をどのように運用すれば、これらのチェックがスムーズに行え、安全に検査を施行できるかということを現在検討中です。

正式な運用が決まり次第、改めてご案内しますので、何卒ご協力の程宜しくお願い致します。

「兵庫県立西宮病院の基本理念および基本方針」

【基本理念】

県立西宮病院は、県民の期待を担い、高度・良質の医療を展開します。

1. 患者様にまごころをこめた医療を提供します。
2. 患者様の意向を尊重し、信頼される医療を実践します。
3. 患者様を中心としたチーム医療、地域医療連携を推進します。

【基本方針】

1. 地域と連携した急性期医療を提供します。
2. 救急医療（二次、三次救急、小児救急）に精力的に取り組めます。
3. 臓器移植、特に献腎移植を推進します。
4. がんや生活習慣病の予防と早期発見・早期治療に努力します。
5. 少子化時代にあつて周産期医療、母子医療を重視します。

◆謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。

このたびの東日本大地震により、被災されました皆様には心からお見舞いを申し上げます。当院からも4月・5月に医師・看護師・薬剤師等のスタッフを被災地である石巻市に派遣し、医療や健康相談等の支援を始めました。今後も継続して、被災地への支援を行っていきたくと考えています。

被災地の一日も早い復旧復興を心よりお祈り致します。

県立西宮病院一同

— 編集後記 —

今回も地域連携便り「はまかぜ」をご覧いただきありがとうございます。

当院は23年4月1日より救命救急センターの指定を受けました。なおいつそう地域医療の中核病院としてスタッフ一同努力して参りますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

3月11日には東北地方で大きな災害がありました。当院からも医療救護班として医師らが派遣され救援にあたっています。

一日も早い被災地の復興を願っております。

(医事課 緒方)

兵庫県立西宮病院

〒662-0918 西宮市六湛寺町13番9号
電話(0798)34-5151(代表) FAX(0798)23-4594
地域連携室直通 FAX(0798)34-4436
地域連携室 E-mail chiiki-ko@hp.pref.hyogo.jp